

# 奈良県観光客動態調査報告書

---

平成30年(1月～12月)

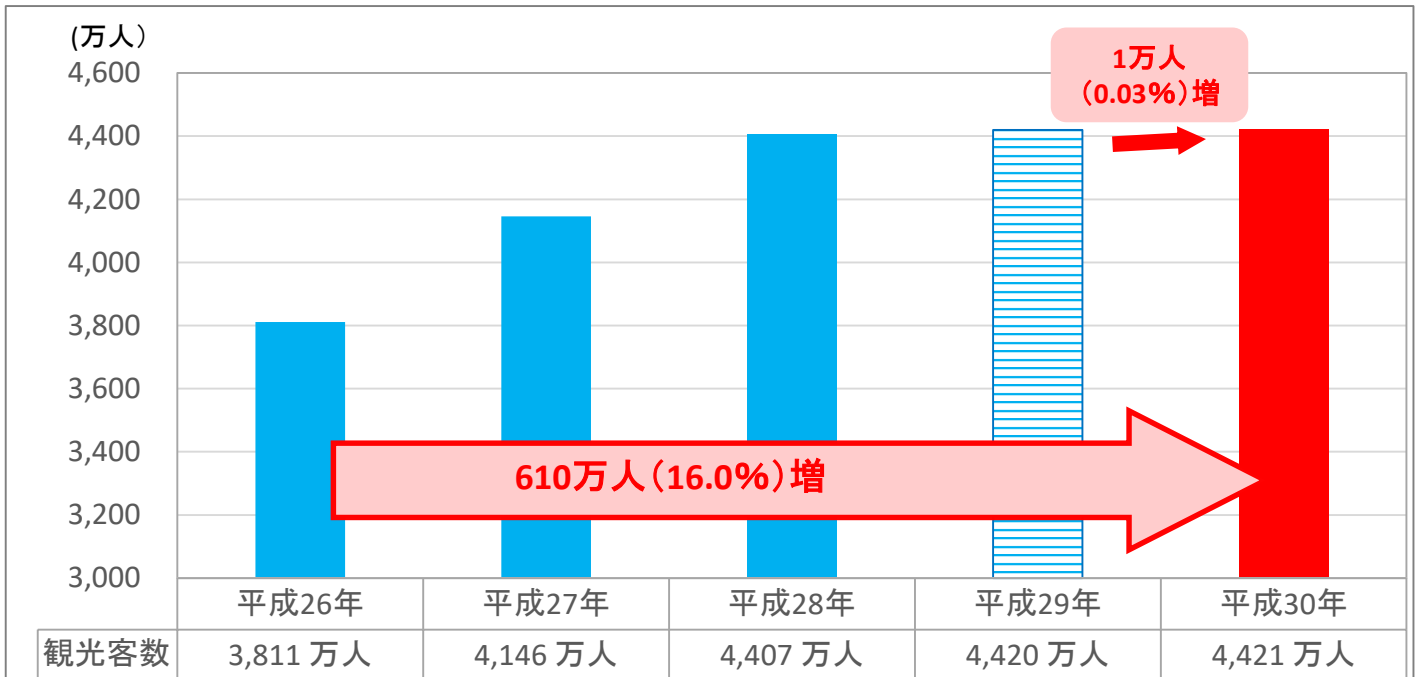
奈良県観光局インバウンド・宿泊戦略室

## 1. 奈良県への観光客数(延べ人数)

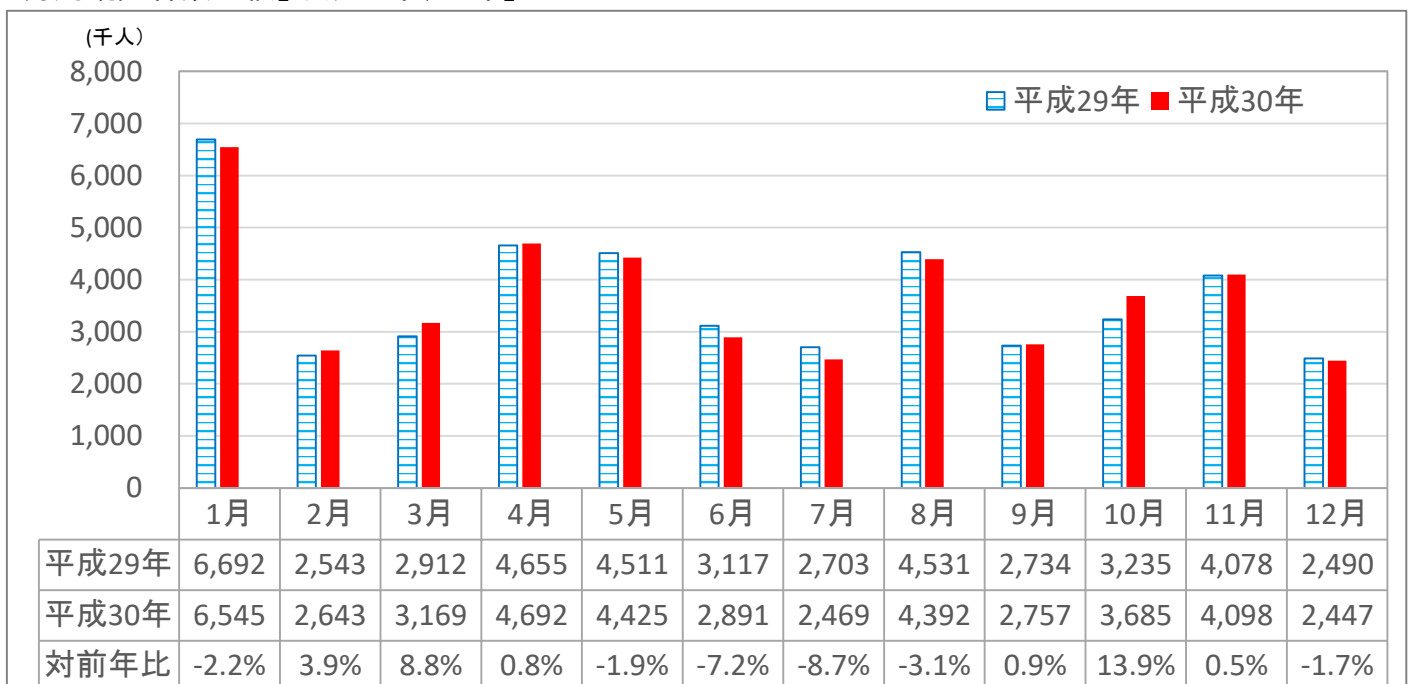
平成30年の奈良県観光客数は**4,421万人**で、前年比**1万人(0.03%)**の増加となりました。  
平成26年と比較すると**610万人(16.0%)**の増加となりました。

平成30年結果を月別にみると、6月～8月は大阪府北部を震源とする地震や台風の影響による減少が見られた一方、3月は桜の開花時期の早まりによる増加、10月は前年の台風の反動による増加が見られました。また、前年1月にあった旧正月(春節)休暇が平成30年は2月となったことによる中華圏の国や地域からの観光客の影響もあり、1月は減少、2月は増加となりました。  
年間を通しては、訪日外国人観光客の増加などで前年比1万人(0.03%)の増加となりました。

延べ観光客数推移【平成26年～平成30年】

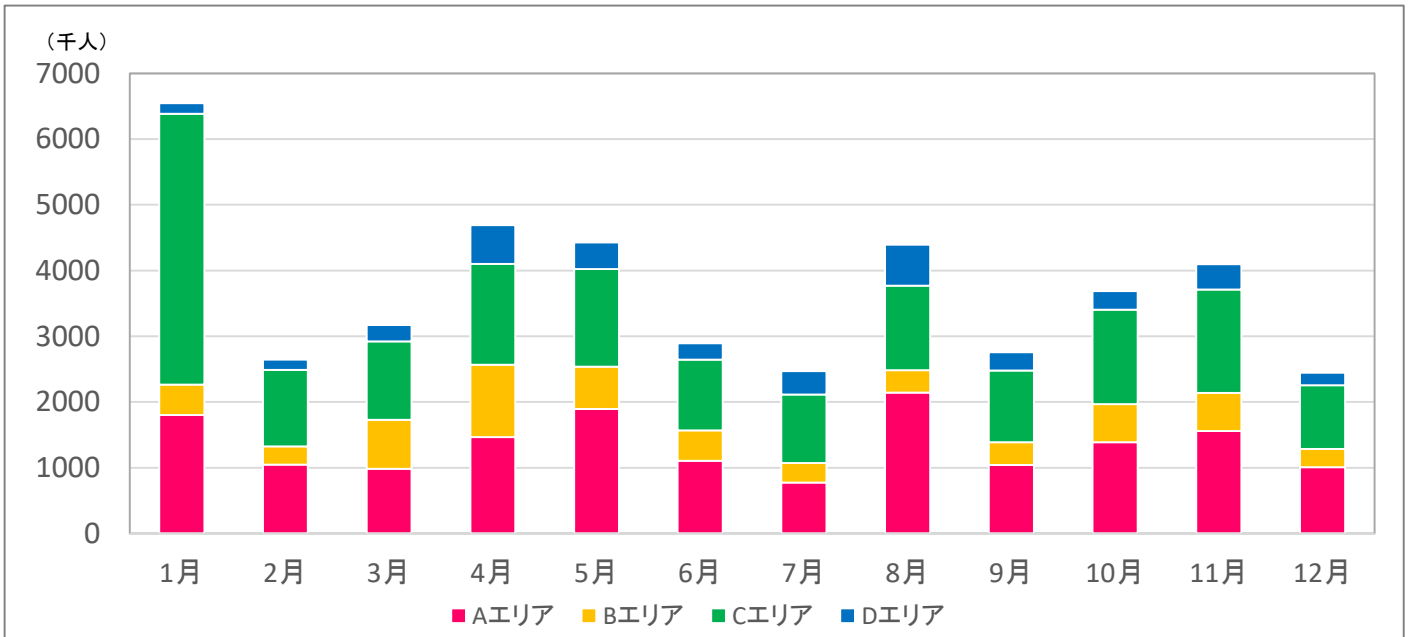


月別観光客数比較【平成29年、30年】



## 2. エリア別観光客数

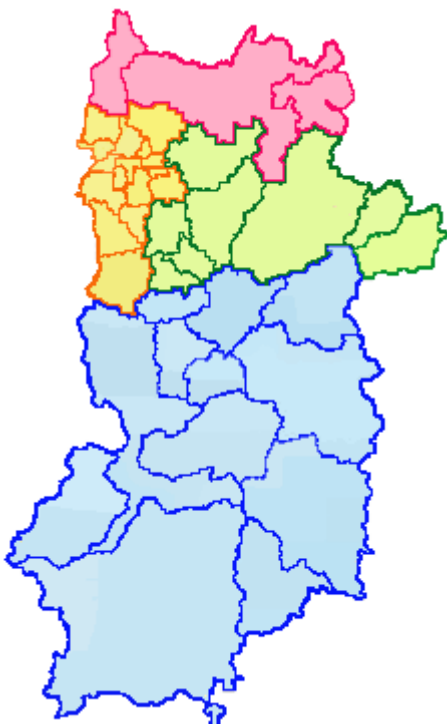
### エリア別・月別観光客数



(単位:千人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
A エリア	1,802	1,050	982	1,466	1,893	1,107	775	2,146	1,042	1,386	1,558	1,008	16,215
前年比	-5.0%	5.0%	-7.8%	14.2%	4.0%	-11.4%	-9.1%	-4.0%	5.6%	5.5%	-4.9%	-3.8%	-1.1%
B エリア	461	276	747	1,101	647	463	300	340	346	581	581	279	6,121
前年比	-2.7%	-1.1%	46.6%	-12.1%	-4.0%	-4.8%	-7.5%	-5.9%	2.1%	25.0%	2.6%	-5.6%	1.6%
C エリア	4,120	1,164	1,194	1,532	1,485	1,075	1,038	1,285	1,092	1,440	1,571	969	17,964
前年比	-0.8%	3.8%	7.0%	2.1%	-7.3%	-5.6%	-7.2%	-0.8%	-1.2%	19.8%	3.7%	0.6%	0.7%
D エリア	162	153	245	594	400	246	358	621	278	278	388	191	3,913
前年比	-3.1%	7.4%	10.4%	-4.0%	-3.5%	1.7%	-12.7%	-2.8%	-8.3%	9.3%	8.1%	4.2%	-1.1%
計	6,545	2,643	3,169	4,692	4,425	2,891	2,469	4,392	2,757	3,685	4,098	2,447	44,214
前年比	-2.2%	3.9%	8.8%	0.8%	-1.9%	-7.2%	-8.7%	-3.1%	0.9%	13.9%	0.5%	-1.7%	0.03%

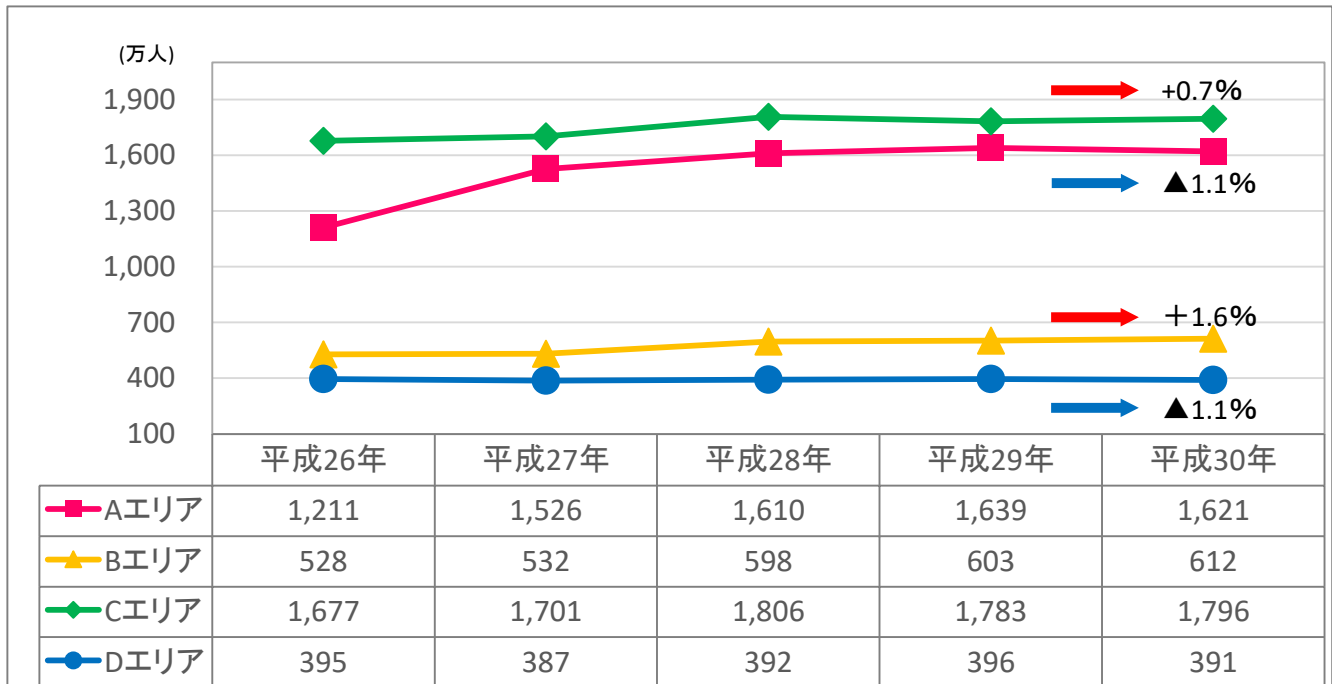
※ 千人未満を四捨五入しているため、内訳と計は一致しません。



A (県北部)	奈良市、生駒市、山添村
B (県西部)	大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
C (県東部)	天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村
D (県南部)	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

## 2. エリア別観光客数

エリア別観光客数の推移【平成26年～平成30年】



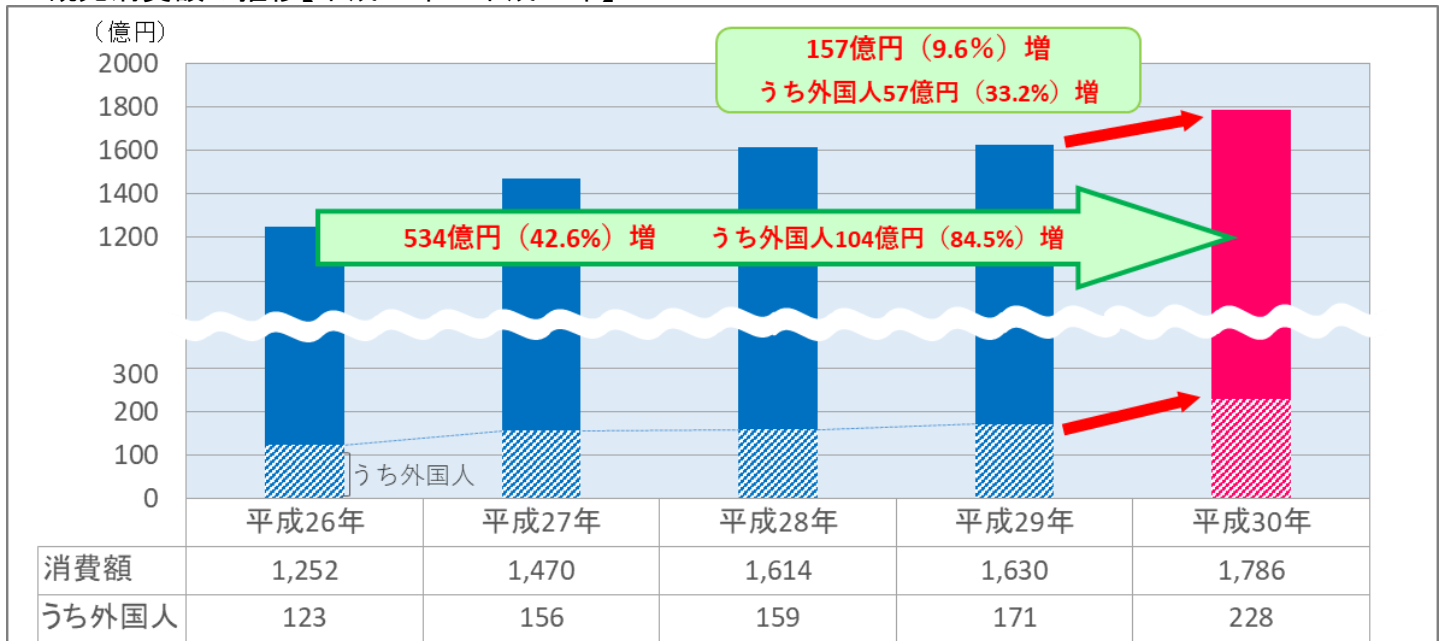
A	<b>前年比：17万人減（▲1.1%） 平成26年との比較：410万人増（+33.9%）</b>
	平成30年3月の平城宮跡歴史公園朱雀門ひろばのオープン、10月の興福寺中金堂落慶があり、賑わいを見せたものの、台風の影響などで、年間を通しては1.1%の減少。
	ここ5年では、訪日外国人観光客の大幅な増加や、春日大社における第六十次式年造替の奉祝行事の賑わいの継続、オフシーズンにおけるイベントの定着などで、33.9%の大幅な増加。
B	<b>前年比：10万人増（+1.6%） 平成26年との比較：84万人増（+15.9%）</b>
	3月は桜の開花時期が早まったことにより賑わいを見せたものの4月はその反動もあり減少した一方、平成30年4月の「道の駅 レストィ 唐古・鍵」「唐古・鍵遺跡史跡公園」オープンの効果もあり、年間を通しては1.6%の増加。
	ここ5年では、馬見丘陵公園の来場者数の好調な推移や、JR東海「うましうるわし奈良」キャンペーンによる効果、信貴山エリアへの訪日外国人観光客の増加などで、15.9%の増加。
C	<b>前年比：13万人増（+0.7%） 平成26年との比較：119万人増（+7.1%）</b>
	台風の影響などによる減少はあったものの、平成29年4月の「天理トレイルセンター」のリニューアルオープンなどによる山の辺の道の賑わいの継続などで、年間を通しては0.7%の増加。
	ここ5年では、平成28年9月の「キトラ古墳壁画体験館 四神の館」のオープンや、飛鳥・山の辺などのエリア全体への訪日外国人観光客の増加などで、7.1%の増加。
D	<b>前年比：4万人減（▲1.1%） 平成26年との比較：4万人減（▲0.9%）</b>
	平成29年12月の「ひよしのさとマルシェ」のオープンによる効果や吉野山の桜の開花時期が早まったことによる賑わいはあったものの、台風の影響などで、年間を通しては1.1%の減少。
	ここ5年では、平成27年から始まった路線バス運賃キャッシュバックキャンペーンや、平成28年9月に運行開始された近鉄の観光特急「青の交響曲」の効果がみられるものの、天候の影響を受けやすく、0.9%の減少。

### 3. 宿泊・日帰り別観光消費額

平成30年の観光消費額は**1,786億円**で、前年比**157億円(9.6%)**の増加となりました。  
5年間で**534億円(42.6%)**の大幅な増加となりました。

1人あたりの観光消費額の平均は、6,822円で前年比167円(2.5%)の増加となりました。  
外国人宿泊客1人あたりの観光消費額の増加が影響していると考えられます。

観光消費額の推移【平成26年～平成30年】



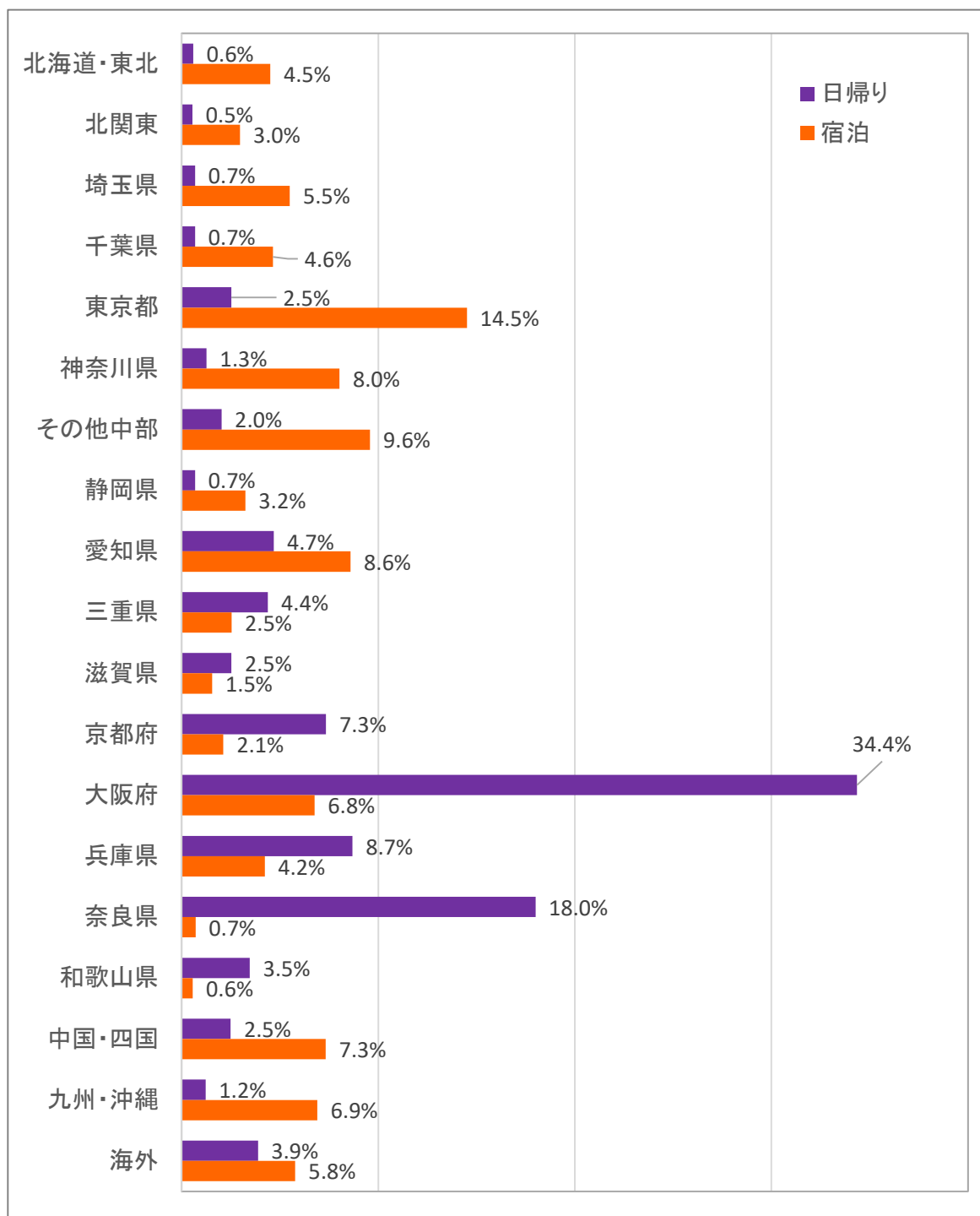
		平成29年	平成30年	前年比較		
観光消費額		(単位:百万円)				
宿泊		58,403	64,709	6,306	10.8%	
	うち外国人	4,612	11,847	7,235	156.9%	
	日帰り		104,555	113,911	9,355	8.9%
		うち外国人	12,493	10,935	-1,558	-12.5%
合計		162,959	178,620	15,661	9.6%	
	うち外国人	17,105	22,782	5,678	33.2%	
1人あたり観光消費額		(単位:円/人回)				
宿泊		24,484	27,451	2,967	12.1%	
	外国人	14,233	28,015	13,782	96.8%	
日帰り		4,731	4,781	50	1.1%	
	外国人	8,103	7,848	-255	-3.1%	
合計(平均)		6,655	6,822	167	2.5%	
	外国人	9,167	12,543	3,376	36.8%	
観光入込客数(実人数)		(単位:千人回)				
宿泊		2,385	2,357	-28	-1.2%	
	うち外国人	324	423	99	30.5%	
日帰り		22,102	23,826	1,724	7.8%	
	うち外国人	1,542	1,393	-148	-9.6%	
合計		24,487	26,183	1,696	6.9%	
	うち外国人	1,866	1,816	-49	-2.7%	

※観光入込客数(実人数)  
延べ入込客数を基に、アンケート調査により得た観光客1人あたりの平均訪問地点数等を考慮し推計しています。

## 4. 来訪者の発地

### ■ 来訪者の発地割合（アンケートの回答者数：3,082人）

- ・日帰り観光客は近畿圏（74.4%）からの来訪者が多く、最も多いのが大阪府（34.4%）、次いで奈良県内（18.0%）、兵庫県（8.7%）となっている。
- ・宿泊観光客は関東圏（35.6%）や中部圏（23.9%）からの来訪者が多く、最も多いのが東京都（14.5%）、次いで愛知県（8.6%）となっている。



※ 奈良県内での宿泊を伴わない観光客を日帰り観光客として集計しています。

※ 回答が少数の道・県は、地域ブロックにまとめています。

地域ブロック	都道府県
北海道・東北	北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
北関東	茨城県 栃木県 群馬県
その他中部	新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県
中国・四国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州・沖縄	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

## 調査の概要(参考)

観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」(以下、「共通基準」という。)に準拠した調査を四半期ごとに実施し推計を行った。

なお、報告書内の数値は、端数を四捨五入して表記している。

## 観光地点等入込客数(延べ人数)調査

市町村が観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に入込客数を調査し、県が集計。

【集計対象数】 … 273

### 【調査対象】

観光地点については次の①～③に掲げる要件の全てを満たすもの、「行祭事・イベント」については②及び③の要件を満たすものを集計対象とした。

- ①非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点であること。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

## アンケート調査

県内の10地点において、平均訪問地点数、観光消費額単価等について調査を行った。

【アンケート回答者数】 … 3,082人

### 【実施場所】

- ・ 東大寺
- ・ 唐招提寺
- ・ ならまち格子の家
- ・ 大神神社
- ・ 長谷寺
- ・ 信貴山朝護孫子寺
- ・ 法隆寺
- ・ 石舞台古墳
- ・ 金峯山寺
- ・ 道の駅「十津川郷」

### 【実施時期】

- ・ 冬 : 平成30年 1月27日(土)、28日(日)、2月3日(土)、10日(土)
- ・ 春 : 平成30年 5月26日(土)、27日(日)
- ・ 夏 : 平成30年 8月 4日(土)、 5日(日)
- ・ 秋 : 平成30年11月17日(土)、18日(日)、24日(土)